

令和6年度の減災に係る取組結果の報告資料

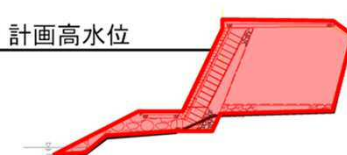
国土交通省の取組状況

○内山下地区は、堤防の高さと幅が不足している。早期に地域の安全性を向上する必要があり、**堤防整備事業に新たに着手**。

- 令和6年度補正予算で、堤防整備に新たに着手。

施エイメージ

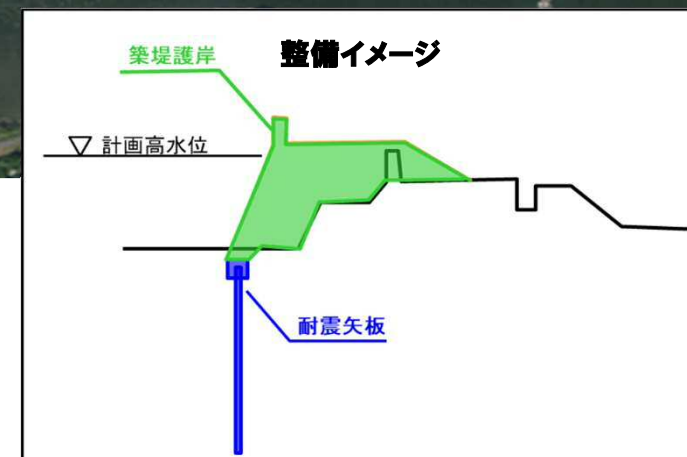
▽ 計画高水位



令和6年度補正
令和7年度以降

○ 当該地区の浸水想定区域内に岡山市街地が含まれており、一度氾濫した場合には甚大な浸水被害が発生する恐れがあるため、洪水防御築堤事業として西大寺地区の築堤・耐震対策に新たに着手。

- 令和6年度補正予算で、耐震対策に着手。



- 令和6年度補正
- 令和7年度
- 令和8年度以降

■ 流下能力対策

対策箇所

- ・堤防高が低い等、当面の目標に対して流下能力が不足している箇所
（上下流バランスを確保しながら実施）

計画：2.65km

計画：2.61km

計画：11.78km

水系	年度	実施状況
吉井川水系	R3年度完了	2.65km（累計100%）

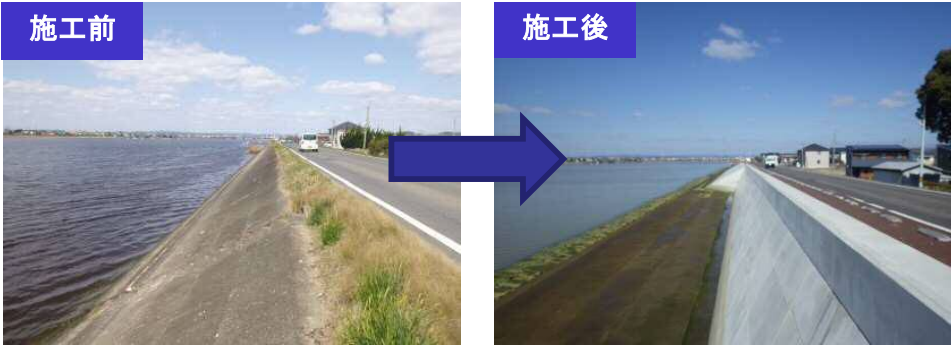
水系	年度	実施状況
旭川水系	R6年度まで	0.5km（累計19%）

水系	年度	実施状況
高梁川水系	R6年度まで	11.45km（累計97%）

見直しにより対策不要となった区間を含む

見直しにより対策不要となった区間を含む

見直しにより対策不要となった区間を含む



旭川水系



高梁川水系

■パイピング対策

対策箇所

- ・過去の漏水実績箇所等、浸透により堤防が崩壊する恐れのある箇所
- ・旧河道跡等、パイピングにより堤防が崩壊する恐れのある箇所

計画:2.98km

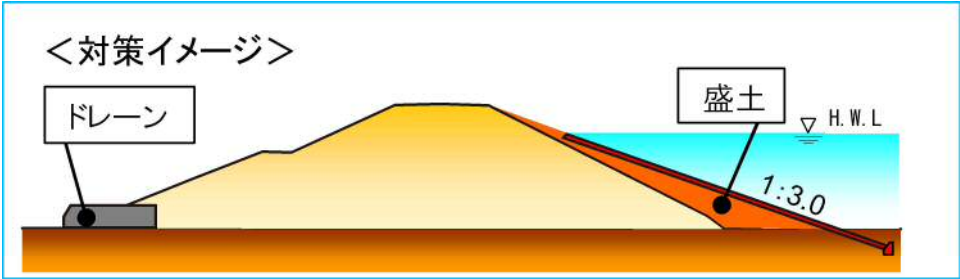
水系	年度	実施状況
旭川水系	R4年度完了	2.98km（累計100%）

見直しにより対策不要となった区間を含む

■浸透対策

対策箇所

- ・過去の漏水実績箇所等、浸透により堤防が崩壊する恐れのある箇所



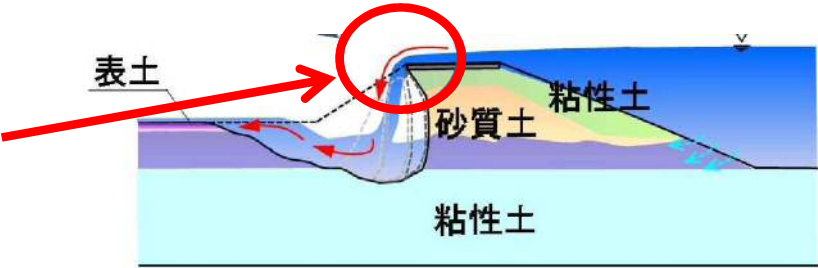
計画:2.63km

水系	年度	実施状況
高梁川水系	R6年度まで	2.48km（累計94%）

見直しにより対策不要となった区間を含む

■天端の保護

堤防天端をアスファルト等で保護し、堤防への雨水の浸透を抑制するとともに、越水した場合には法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



計画:2.60km

水系	年度	実施状況
吉井川水系	H28年度完了	2.60km（累計100%）

見直しにより対策不要となった区間を含む

計画:1.23km

水系	年度	実施状況
旭川水系	H28年度完了	1.23km（累計100%）

見直しにより対策不要となった区間を含む

計画:0.69km

水系	年度	実施状況
高梁川水系	H28年度完了	0.69km（累計100%）

見直しにより対策不要となった区間を含む



吉井川水系



高梁川水系

■まとめ

	吉井川水系	旭川水系	高梁川水系
流下能力対策	2.65km／ 2.65km(100%)	0.50km／ 2.61km(19%)	11.45km／ 11.78km(97%)
パイピング対策	—	2.98km／ 2.98km(100%)	—
浸透対策	—	—	2.48km／ 2.63km(94%)
堤防天端の保護	2.60km／ 2.60km(100%)	1.23km／ 1.23km(100%)	0.69km／ 0.69km(100%)

令和6年度末時点／全体計画(進捗率%)

■避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備

保有する水防資機材の状況を平素より管理し、必要に応じて補充するなど、緊急時における速やかな対応を図る。



保有する水防資機材の状況を平素より管理し、必要に応じて補充するなど、緊急時における速やかな対応を図る。

備蓄水防資機材及び備蓄土一覽表（R7.4現在）

備蓄水防資機材及び備蓄土一覧表(吉井川水系)

[illegible]

備蓄水防資機材及び備蓄土一覽表(旭川水系)

[illegible]

備蓄水防資機材及び備蓄土一覧表(高梁川水系)

[illegible]

■地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築

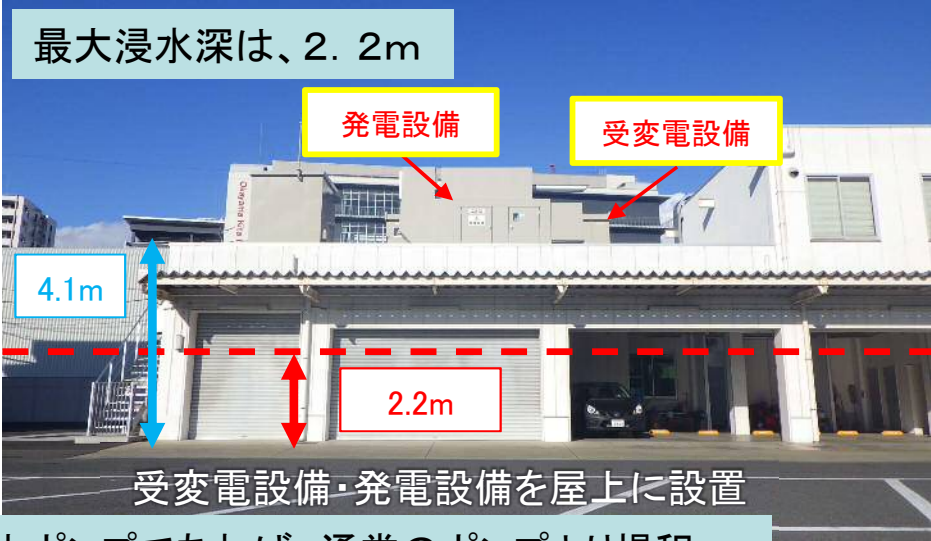
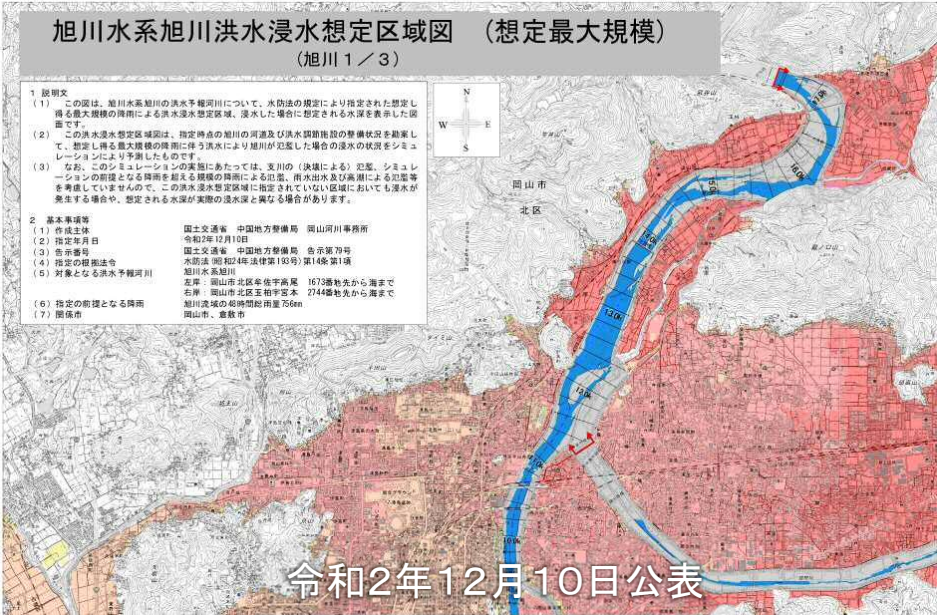
地域住民の生命と財産を守るため「災害時の応急対策に関する協定」を締結し、災害時の迅速な活動体制を確保する。

※協定の期間は、令和6年12月16日～令和8年12月15日

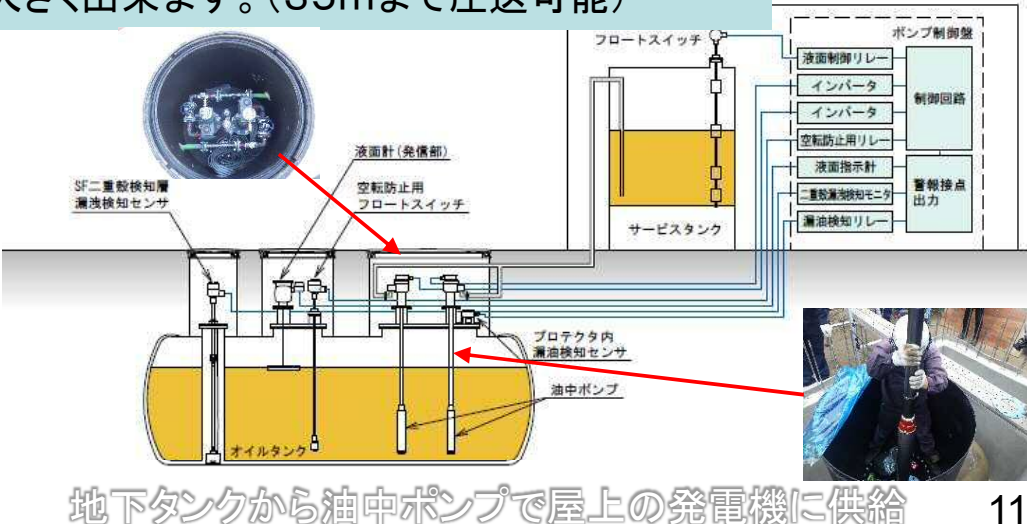
令和6年度 災害応急対策活動等(測量・設計)		令和6年度 災害応急対策活動等(写真撮影)		令和6年度 河川等災害応急対策活動等基本協定	
河 川 名	協 定 締 結 業 者 名 (五十音順)	河 川 名	協 定 締 結 業 者 名 (五十音順)	河 川 名	協 定 締 結 業 者 名 (五十音順)
吉 井 川 旭 川 高 梁 川	株式会社荒谷建設コンサルタント いであ株式会社 株式会社ウエスコ 株式会社エイト日本技術開発 応用地質株式会社 基礎地盤コンサルタンツ株式会社 株式会社山陽設計 株式会社シディック 西部技術コンサルタント株式会社 中電技術コンサルタント株式会社 株式会社なんば技研 日本インフラマネジメント株式会社 パシフィックコンサルタンツ株式会社 復建調査設計株式会社	吉 井 川 旭 川 高 梁 川	株式会社秋山測量設計 株式会社荒谷建設コンサルタント 株式会社ウエスコ 株式会社エイト日本技術開発 株式会社光栄技研 株式会社シディック 西部技術コンサルタント株式会社 株式会社なんば技研 株式会社パスコ	吉 井 川	栄光テクノ株式会社 大森建設工業株式会社 株式会社村上興業 株式会社元浜組
				旭 川	株式会社荒木組 株式会社大都建設 株式会社大本組 株式会社奥野組 株式会社笹山工業 有限会社佐山建設 株式会社三幸工務店 株式会社竹内組 蜂谷工業株式会社
				高 梁 川	株式会社大森工務店 株式会社小田組 株式会社カザケン 株式会社片山工務店 株式会社シンケン 中央建設株式会社 株式会社ナйкаイアーキッ 中村建設株式会社 株式会社ニシテクノ 株式会社藤原組 株式会社堀工務店
令和6年度 災害応急対策活動等(電気通信工事)		令和6年度 災害応急対策活動等 (排水ポンプ車・照明車の運送及び運転操作業務)			
河 川 名	協 定 締 結 業 者 名 (五十音順)	災害対策用機械	協 定 締 結 業 者 名 (五十音順)		
吉 井 川 旭 川 高 梁 川	山陽電子工業株式会社 タイセイ電工株式会社	排水ポンプ車 照明車 待機支援車	株式会社荒木組 栄光テクノ株式会社 株式会社奥野組 株式会社小田組 株式会社笹山工業 株式会社三幸工務店 株式会社シンケン 蜂谷工業株式会社 三宅建設株式会社 株式会社村上興業		

■受変電・予備発電設備の耐水化を実施

○河川の氾濫による浸水時においても、各種水文情報を収集伝送する設備を守り、防災業務を継続するため、令和2年12月に公表された浸水想定区域図(想定最大規模)の浸水深に基づき、岡山河川事務所、旭川出張所、西大寺出張所の受変電・予備発電設備を屋上に移設しました。



油中ポンプであれば、通常のポンプより揚程を大きく出来ます。(35mまで圧送可能)

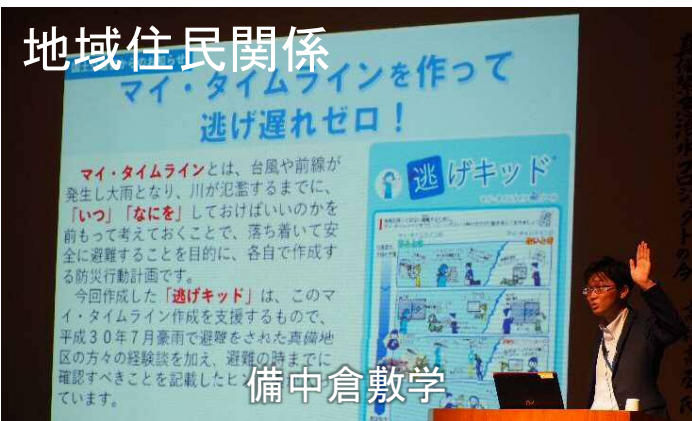


防災教育や防災知識の普及

■マイ・タイムライン講習会を開催

- 逃げ遅れゼロを目指して、岡山河川事務所では昨年度より引き続き「マイ・タイムライン」に関する講習を行い、マイ・タイムラインの作成や避難、河川の水位等の情報入手方法などについてお知らせしました。
- 今年度は、行政関係や防災に携わる方だけでなく、地域住民や福祉関係者等への講習を実施し、これまで以上に幅広い方々を対象に講習し、「マイ・タイムライン」の普及、水害の自分ごと化、避難意識の向上に繋がりました。

地域住民関係



地域住民関係



教育関係



防災機関関係



福祉関係



外国人関係



- ・令和6年4月～12月の間に7回の講習を実施し、延べ約400人が受講。
- ・同期間に配布した逃げキッドは約1,000部(講習以外にイベント配布や希望者への配布を含む)

■地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築

【台風10号】

瀬戸内市からの排水ポンプ車の要請(牛文排水機場故障による)がありましたので排水ポンプ車を出動させました。雨が多く降らなかったため、ポンプは設置せず待機のみで帰還しました。

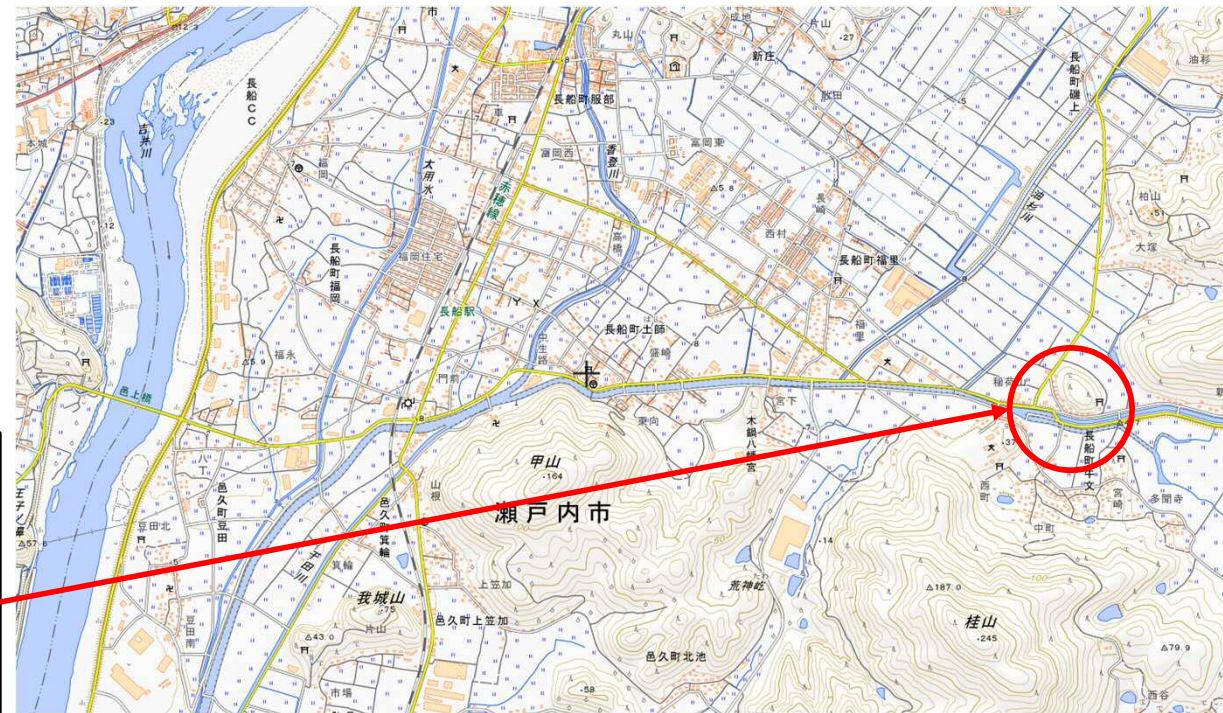
- 出動機械
排水ポンプ車(30m³/min)
- 派遣期間
8月30日(金)23:00～
8月31日(土)7:19



排水ポンプ車出動状況



牛文排水機場(瀬戸内市牛文地先)



出典:地理院地図/国土地理院HP

排水計画(案)の作成および排水訓練の実施

■排水機場・樋門・水門等の情報共有(連絡体制など)を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施

「災害時の応急対策に関する協定」の締結協力事業者を対象に災害対策機械の操作訓練を実施し、操作の習熟度向上を図る。令和6年度は、高梁川、旭川、吉井川の3会場で操作訓練を行い、高梁川会場では倉敷市と、吉井川会場では和気町と合同で操作訓練を行った。(延べ参加者約160名)

災害対策機械訓練状況【吉井川水系6月3日、旭川水系6月5日、高梁川水系6月14日】



高梁川排水ポンプ車訓練(令和6年)



旭川排水ポンプ車訓練(令和6年)



吉井川排水ポンプ車訓練(令和6年)



高梁川照明車訓練(令和6年)



旭川照明車訓練(令和6年)



吉井川排水ポンプ車訓練(令和6年)

「流域治水」を特定テーマとした高梁川水系減災対策協議会を開催

- 「流域治水」を特定テーマとした減災対策協議会を開催。
- 平成30年7月豪雨から5年が経過し、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備えるため、高梁川流域の関係機関が集まり、高梁川流域の河川、流域、地域の特性を踏まえて、流域治水の重点的に取り組むべき内容について意見交換を実施。

<開催概要>

【日時】令和6年5月20日(月)
15:00~16:30

【会場】コンベックス岡山2階
国際会議場



【出席委員】
倉敷市長、総社市長、高梁市長、
新見市長、浅口市長、早島町長ほか



減災対策協議会開催の様子

<意見交換における主な発言>



伊東 倉敷市長

・平成30年7月豪雨災害後、流域治水対策には特に注力している。
・農業用水路の事前排水や田んぼダムの普及促進は農業者の協力が必要であるため、連携を深めて行きたい。



片岡 総社市長

・高梁川の河道掘削と内水排水ポンプ設置は住民が安心感を感じている。
・昨年度は15の小学校で防災訓練を実施している。引き続き、訓練を通じた防災意識の啓発に積極的に取り組む。



近藤 高梁市長

・ARゴーグルを活用した災害の疑似体験を通じて、災害を忘れない学習に繋げている。
・災害に対する日頃からの備えが非常に重要。流域治水等への取組を進める。



岡山河川事務所
垣原 事務所長

・流域治水をより一層推進するためには、河川、流域、地域の特性を踏まえて取組を進めることが重要である。
・委員の皆様には流域治水の取り組みを先導する役割を担っていただきたい。



戎 新見市長

・毎年実施しているアンケート調査から、防災意識の低下を懸念している。
・今後とも、防災訓練や防災意識の啓発に関する取り組みを推進することで、防災意識の向上に努めることとしたい。



栗山 浅口市長

・浅口市の特徴として、農業用ため池が多いことから、ため池の適切な維持管理に努めている。
・被害軽減のために、迅速かつ適切な情報提供に取り組んでいる。



佐藤 早島町長

・防災デイキャンプを通じて、子供たちが楽しみながら防災意識を高める取組を推進している。
・子供たちが家庭で防災の話をすることで、防災意識向上効果を期待している。



会議資料(流域治水対策)

流域治水現場見学会の開催

令和6年度 流域治水現場見学会を開催

- 流域治水の更なる推進を図るため、自治体等の担当者レベルで理解が深まるよう、令和6年9月30日(月)に赤磐市内と岡山市内、令和6年10月3日(木)に倉敷市内で現場見学会を開催。
- 現場見学会では、赤磐市の「ため池の洪水吐と排水樋門の調整方法」、岡山市の「岡山芸術創造劇場ハレノワの地下貯留施設」、倉敷市の「住民参加型の樹林化抑制対策」といった流域治水の先導的な取り組み事例について、関係者から現地で説明を受けた。

9月30日の現場見学(赤磐市、岡山市)10機関24名が参加

(岡山市、玉野市、総社市、高梁市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、浅口市、福山市、環境省中国四国地方環境事務所)



田んぼダムの堰板(赤磐市)



洪水吐と排水樋門(岩田大池)



雨水貯留施設
(岡山芸術創造劇場ハレノワ)



雨水貯留施設
(北長瀬未来ふれあい総合公園)

10月3日の現場見学(倉敷市)9機関18名が参加

(岡山市、倉敷市、総社市、真庭市、浅口市、早島町、福山市、環境省中国四国地方環境事務所、岡山地方気象台)



止水壁設置イメージ



止水壁の保管庫(倉敷中央病院)



遊水池



遊水池及び排水施設(柳井原)



マレットゴルフ場
(樹林化抑制対策)



樹林化抑制対策(小田川河川敷)



まびふれあい公園(全景)



まなびの部屋(まびふれあい公園)

岡山県の取組状況

河川の流水を阻害する堆積土や繁茂樹木の除去

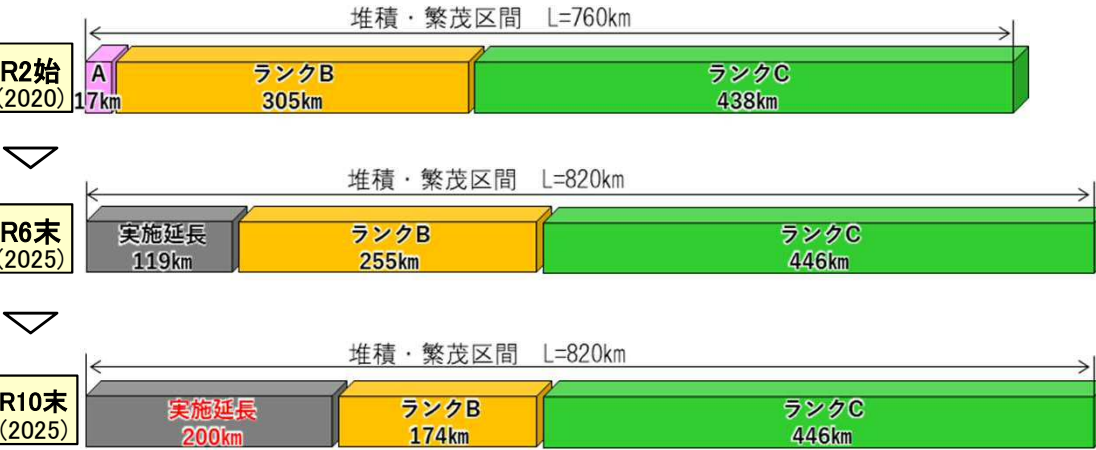
河道掘削・樹木伐採の推進

現状・課題

- 河道内に堆積した土砂や繁茂した樹木により、川の流れが阻害されている箇所について、「河道内整備実施計画」に基づき、優先度の高い箇所から、効果的に河道内整備（河道掘削・樹木伐採）を行い、浸水リスクを低減。
- 令和6年度末までに、約119kmの河道掘削や樹木伐採を実施したが、対策が必要な箇所は依然として数多くあり、また、これまでに実施した箇所の一部では、土砂の再堆積や樹木の再繁茂も見受けられる。



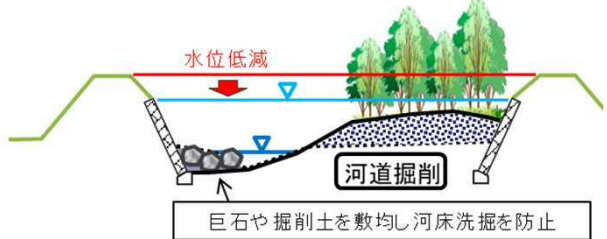
要対策箇所の状況



河道内整備

河川機能の保持とコスト縮減を両立

樹木伐採



土砂の再堆積状況



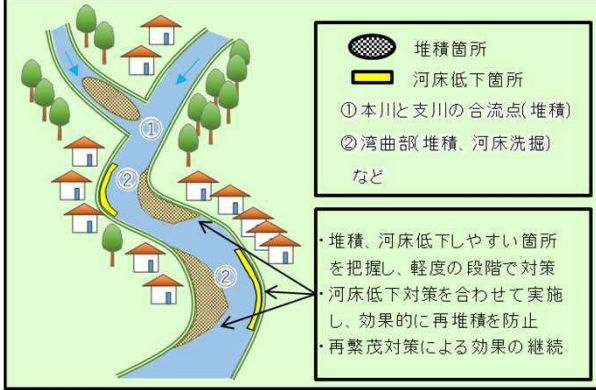
再繁茂対策の状況



河床低下対策の状況



再堆積・再繁茂・河床低下対策



期待される効果

- 河道掘削・樹木伐採により洪水時の水位を下げ、浸水リスクを低減
- これまでの取組の成果を維持し、持続可能な河川管理を実施

スケジュール・事業費

令和7年度から令和10年度末までに約81kmの河道内整備を行うこととして、累計延長200kmを整備目標とするとともに、再堆積等の対策も実施する。

実施内容	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
河道内整備	10億円	10億円	8億円	8億円	36億円
再堆積・再繁茂・河床低下対策	3億円	3億円	3億円	3億円	12億円
R7～R10 合計					48億円

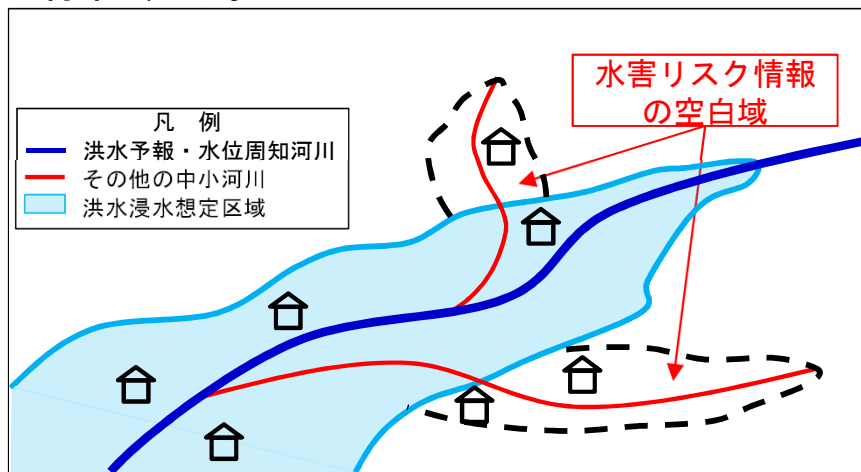
広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

■ 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表（岡山県管理区間）

洪水予報河川等については、洪水浸水想定区域図を作成し水害リスク情報を公表している。その他の中小河川についても、浸水被害の全国的な発生を踏まえ、令和3年度に水防法が改正されたことから、区域図を作成し洪水による水害リスク情報の空白域を解消する。

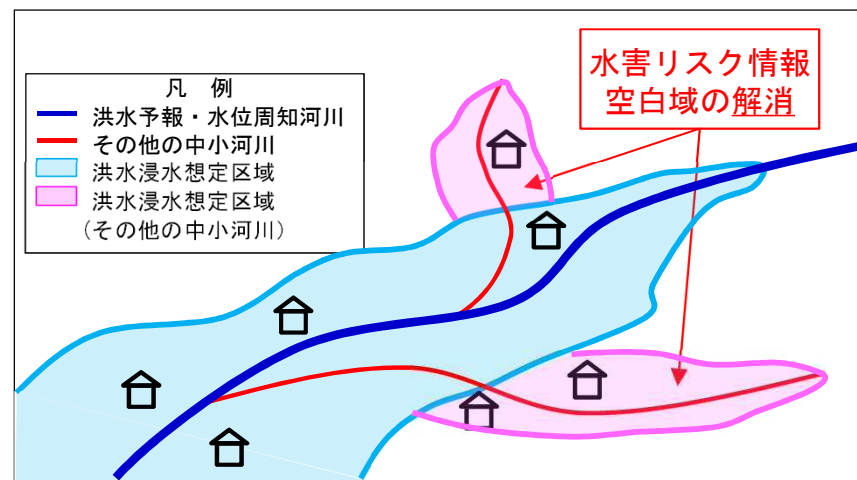
◆ 現状・課題

中小河川では、一部を除き、洪水浸水想定区域図を公表しておらず、水害リスク情報の空白域が存在する。



◆ 取組内容

中小河川の氾濫により浸水が想定される範囲について、洪水浸水想定区域図を作成。



◆ 効果

洪水浸水想定区域図を、水害リスク情報として公表することにより、住民等の、水害を「我がこと」として捉える意識の醸成が進み、洪水時における円滑かつ迅速な避難行動が促進される。

◆ R6実施内容

吉井川水系の中小河川において、想定最大規模(L2)及び計画規模(L1)の洪水浸水想定区域図を作成。

■災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う

防災教育教材の作成及び出前講座の開催

子供の頃からの地域に根ざした防災教育を推進するため、学校や家庭などで活用できる防災教育教材「おかやま備災手帳」を作成し、小中高生等を対象に「備災出前講座」を開催した。

《備災出前講座》備前県民局建設部（東備地域）
備中県民局地域政策部

- ・ 自然災害やハザードマップの学習
- ・ 防災まちあるき
- ・ オリジナルハザードマップ作成 等



自然災害や避難の方法を学習



防災まちあるき
(注意すべき場所などを発見)



オリジナルハザードマップ作成



「おかやま備災手帳」

■実働水防訓練の実施

- 令和6年10月26日、今在家河川防災ステーション(岡山市中区)にて、「岡山県水防技術講習会」を開催し、消防団員や県及び市の職員計21名により、水防工法の演習等を行いました。



講義（水防工法等）



改良積み土のう工法



土のう作成



ロープワーク



月の輪工法



講義（水防団と自主防災組織の役割）

防災知識の普及啓発

■防災の日・防災週間にあわせた防災の普及啓発

【目的】

いつ起こるかわからない地震や風水害に対して、県民自らが災害に備えることの重要性を呼びかけ、県民の防災意識の高揚を図る。

【内容】

- ・毎年、防災の日(9月1日)及び防災週間(8月30日～9月5日)にあわせて、ホームセンターや100円均一ショップに防災コーナーの設置協力を依頼
- ・ラジオや岡山県危機管理課の公式Xアカウント「岡山県防災」を用いた、防災週間と災害への備えに関する普及啓発を実施
- ・県庁舎に防災週間の懸垂幕を掲示

【効果】

- ・防災ガイド・チラシの配布による県民の防災意識向上

懸垂幕



防災コーナー



■出前講座の実施

【目的】

県民に対して、過去の災害や災害に対する備えの紹介を行うことで、防災意識の高揚や自助の取り組みの促進を図る。

【内容】

- ・岡山県の発行する防災ガイドブック「ももたろうの防災」等を活用した、平時の備え等に関する講演
- ・VRゴーグルを用いた災害体験

【効果】

- ・令和6年度(1月10日時点)では、出前講座を9回行い、総参加者数は約500名
- ・防災ガイドブック「ももたろうの防災」やYahoo!防災速報アプリのチラシの配布による県民の防災意識の向上
- ・過去の災害の紹介や、具体的な備えの方法を紹介することにより、家庭での自助を促進

講演



VRゴーグルを用いた災害体験



市町村等の取組状況

WEB版ハザードマップの普及、利用促進

取組の内容

- 市民から「外出時に紙のハザードマップが持ち歩けない」、「災害時に最寄りの避難所がどこか分からない、どこに向かって避難すべきかわからない」といった意見が寄せられていたため、令和5年2月にWEB版ハザードマップを導入しました。このハザードマップは、スマートフォンやタブレットで位置情報を取得し、最寄りの避難所までのルートを表示する機能を持ち、さらに5か国語での表示が可能です。
- 市民を対象にした出前講座や町内会長等を対象とした地域説明会で、WEB版ハザードマップの使用方法を説明しました。また、外国人住民を対象とした防災イベントで、参加者自身にスマートフォン等でWEB版ハザードマップを操作してもらいました。イベント参加者からは、多言語対応のおかげで操作しやすいと高評価を得ることができました。

岡山市 WEB 版ハザードマップ

ハザードマップで岡山市のエリアにどのような災害リスクがあるか確認できます。災害の種類ごとに、浸水範囲や浸水深さ、避難場所などの必要な情報もわかります。

WEB 版ハザードマップの種類

洪水・土砂災害
地震
津波

WEB 版ハザードマップの機能

- ◇スマートフォンやタブレット等の位置情報を活用
- ◇各種災害（洪水・土砂、高潮、津波）のハザード情報を表示
- ◇災害発生時に避難情報が表示された地域をドロップで表示
- ◇周辺の避難所の開設状況を表示
- ◇避難所までのルートを表示
- ◇多言語（日本語、英語、韓国語、中国語）で表示

日本語版 英語版 韓国語版 中国語版（繁体字） 中国語版（簡体字）

上の QR コードを、スマートフォンのカメラや QR コードリーダーのアプリで読み取ってください。または、「岡山市 WEB 版ハザードマップ」で検索してください。

【問い合わせ先】 岡山市危機管理室
TEL:086-803-1082 FAX:086-234-7066

岡山市 WEB 版ハザードマップの閲覧の仕方（洪水・土砂災害の場合）

1 スマートフォンでウェブ版ハザードマップを開く
2 地図上で位置情報を読み取る
3 地図上で位置情報を読み取る
4 地図上で位置情報を読み取る

手順 2-1：地図画面での操作方法

1 地図上で位置情報を読み取る
2 地図上で位置情報を読み取る
3 地図上で位置情報を読み取る
4 地図上で位置情報を読み取る

手順 2-2：地図画面での操作方法

1 地図上で位置情報を読み取る
2 地図上で位置情報を読み取る
3 地図上で位置情報を読み取る
4 地図上で位置情報を読み取る

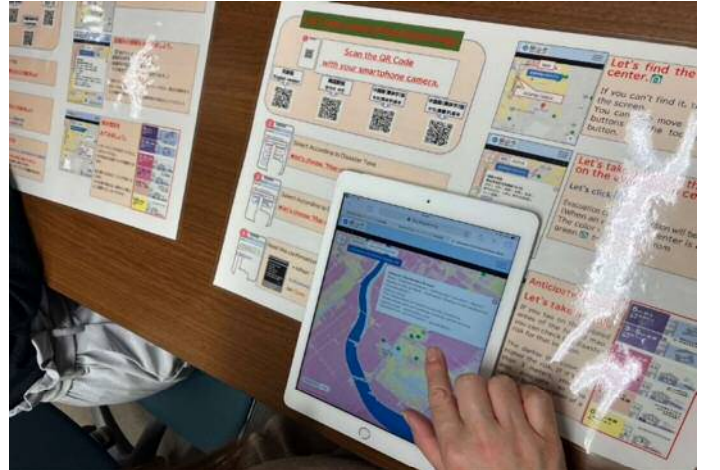
桃井 郎
のまち岡山

地域防災力向上に向けた説明会

【ハザードマップの活用について】

令和6年度版
岡山市危機管理室

地域説明会では、ハザードマップの活用方法について説明



外国人住民を対象にしたイベントでは、自分のスマートフォン等で避難所を検索

■水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催

- 町内会・自主防災組織・市内小学校等の団体を対象とし、地域防災力の向上を目的とした防災講話(出前講座)を開催
- 座学だけでなく、受講者参加型のグループワークの要望にも対応(避難所運営ゲーム、図上避難訓練、クロスロードゲームなど)

○令和6年度開催実績(令和7年1月末時点)
申請団体数 69団体
延べ参加人数 約2,800名



▲小学校での避難所体験



▲小学校での防災講話



▲防災マップ作り



▲大学生による防災まち歩き(フィールドワーク)



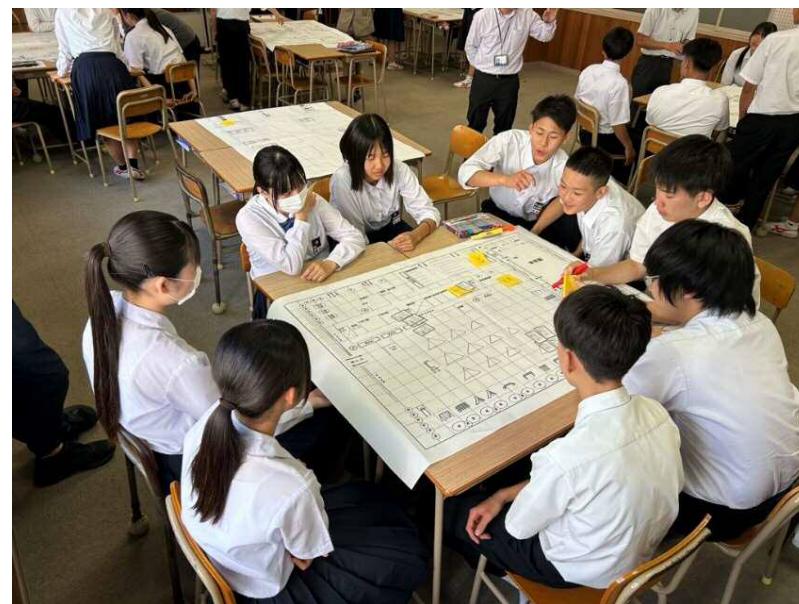
▲中学校での避難所運営ゲーム(HUG)

■ 出前講座による防災知識の普及啓発活動

- 令和5年3月に改訂した防災ハザードマップを基に市民に対し、防災知識の普及啓発と防災意識の向上を目的とした出前講座を全域で実施。
- 受講希望団体には避難所運営ゲームによる実践的な講習を実施。
- 令和6年度実績:41回開催、1229名参加(令和7年3月末現在)



玉野市内の商業施設における出前講座の様子



中学生が避難所運営ゲームを行っている様子

■防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布

- 瀬戸内市防災アプリや屋外放送、戸別受信装置により一斉配信を行うことで、避難情報等の伝達を迅速に実施する。

【防災アプリと戸別受信装置】



【広報用チラシ(高齢者向け)】

身近な防災対策で **命** を守る

災害情報の入手に
自信がありますか。

75歳以上
高齢者のみの世帯※など
通信料免除
0円

瀬戸内市
防災アプリ **戸別受信装置**

アプリ利用料 **無料**
通信料は利用者負担となります。

※詳しい免除の要件は
裏面をご覧ください

台風や地震など、災害からの避難に備えて
今すぐ どちらかを準備！

アプリの具体的なインストール方法、戸別受信装置の詳細は裏面をご覧ください。

防災アプリのインストール
戸別受信装置の手続き **お手伝い します**
まずは、お電話ください

瀬戸内市危機管理課 | TEL:0869-22-3904 E-mail:kikikanri@city.setouchi.lg.jp

屋外放送



■地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築

- 令和6年11月17日(日)に岡山県赤磐市上市地内(高陽中学校)で令和6年度赤磐市総合防災訓練を開催。県、市町村を始めとした関係団体34機関が参加し、情報伝達訓練、水防工法訓練、避難訓練等を実施した。
- 訓練はタイムラインに沿って関係機関との連携や避難指示の伝達を行い、実践訓練として建設業協会、市職員による可搬型排水ポンプの設置、水防団員による改良積み土のう工法を行い、災害への対応力向上を図った。

■開催日時:令和6年11月17日(日) 9:30~12:00

■開催場所:赤磐市立高陽中学校

■主 催:赤磐市

■参 加 者:約400名(観覧者含む)

■参加機関:34機関



◀ 閉会式の様子



▲可搬型排水ポンプの設置訓練



▲改良積み土のう工法



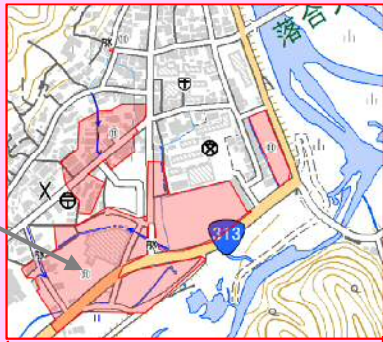
▲避難所開設訓練

■ライブカメラの情報をリアルタイムで提供

■令和6年度に備中川に向けたフラップゲート設置に伴う河川ライブカメラ2箇所を増設

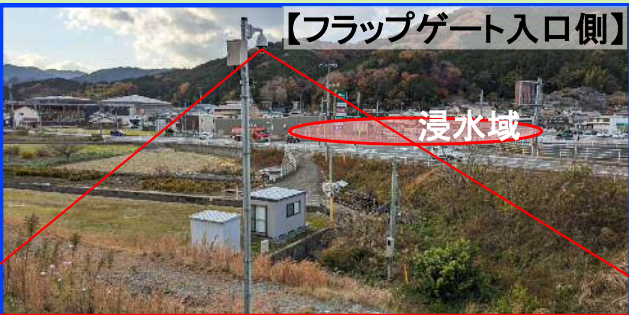


浸水光景



平成30年7月豪雨時の浸水域

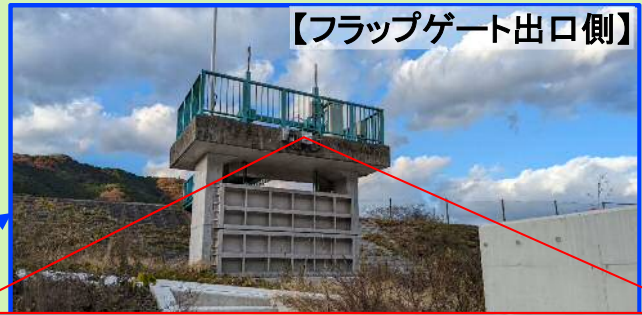
- 平成30年7月豪雨の際、備中川の旭川への合流点に近い落合垂水地区の一部で、内水氾濫が発生
- 令和6年度に、備中川に向けたフラップゲート整備完成に合わせ、河川ライブカメラを設置
- 河川ライブカメラによりフラップゲートの入口と出口の浸水深等の視認が可能



ライブカメラモニター画面



真庭市ライブカメラ配置状況



ライブカメラモニター画面

■可搬式排水ポンプの整備

消防団や地域の方に貸し出し、浸水被害の減少、浸水した時の早期復旧を目的に配備

- 吉野川流域を中心に、美作市役所本庁、4つの総合支所、消防本部、美作市浄化センター16台を配備。
- 講習を受けたものを主導とした使用を想定しているため、誰でも動かせるよう年に数回訓練を開催。要請があれば、消防本部での操作訓練だけではなく、利用場所を想定した現地での訓練も行っている。



訓練の様子



■町イベントへの防災ブースの出店

- 開催日時: 令和6年11月23日(土)10:00~15:00
- 開催場所: 和気ドーム(益原多目的公園内)
- 講師: 岡山地方気象台
- 内容: 液状化等の実験装置や災害を疑似体験できるVRゴーグルをイベント来場者に体験していただいた。



■自主防災組織対象に研修会の実施

①避難所運営研修会

- 開催日時: 令和6年8月22日(木)19:00~21:00
- 開催場所: 和気町総合福祉センター
- 講師: 株式会社ドウ・マイ・ベスト 代表取締役 太田裕之氏
- 内容: 西日本豪雨の被害にあった真備町の避難所運営について



②避難所運営ゲーム(HUG)

- 開催日時: 令和6年12月11日(水)19:00~21:00
- 開催場所: 和気町総合福祉センター
- 講師: (一財)消防防災科学センター 防災図上訓練指導員 森 良光氏
- 内容: HUGを通して、避難所運営を疑似体験



■自主防災組織及び職員を対象とした防災研修会

令和6年6月14日に学校法人加計学園と締結した包括連携協定に基づき、岡山理科大学から講師をお招きして、3回シリーズの防災研修会を実施しています。

<1回目>

■開催日時: 令和6年9月24日(火) 10:00～11:30

■開催場所: 和気町総合福祉センター

■講師: 岡山理科大学 生物地球学部 教授 佐藤丈晴氏

■内容: 平成30年豪雨の経験を踏まえた防災対策に対する考え方

<2回目>

■開催日時: 令和6年12月2日(月) 10:00～11:30

■開催場所: 和気町総合福祉センター

■講師: 岡山理科大学 生物地球学部 教授 佐藤丈晴氏

■内容: 豪雨時(土砂災害、浸水)等リスクの高まった時にどう行動しなければならないか

<3回目>

■開催日時: 令和7年2月17日(月) 10:00～11:30

■開催場所: 和気町総合福祉センター

■講師: 岡山理科大学 生物地球学部 教授 佐藤丈晴氏

■内容: 大切な命を守るために地域で何をしなければならないのか



■ハザードマップ見直し

■取組の内容

6月に地震による、震度5弱を想定した総合防災訓練を岡山県をはじめとする関係団体の協力を得て実施。孤立集落が発生し、救援活動、物資輸送等の訓練と同時に住民による、避難場所の確認、避難経路及び内容について職員を含めて意見交換をし、見直しを行った。



河川監視カメラ及び防災システムとの連携について

河川の水位状況を河川監視カメラ映像でリアルタイムで配信することにより、水防活動体制や避難行動に活用する。

事業費 10,000千円

○鏡野町ホームページ

○鏡野町ケーブルテレビ

○ネット会社等からの問い合わせにより、情報提供



町内10カ所に設置

- ・鏡野地域:薪森原、香々美、百谷、土居、入
- ・奥津地域:井坂
- ・上齋原地域:上齋原
- ・富地域:富東谷(山口)、富東谷(大原)、大

34

■勝央町総合防災訓練における個別避難計画作成訓練のための同計画作り方の普及

- 勝央町総合防災訓練において個別避難計画作成する地区に対して個別避難計画の作り方を防災担当職員が講師となり地区内の常会長約30名へ説明し、各常会長は個別避難計画作成する基礎的知識を学習
- 個別避難計画における避難経路について対象となる地区は滝川(吉井川水系支流)が地区中央から地区東に向けて流れていることにより滝川の氾濫を考慮した避難経路や垂直避難などについて説明を加え、避難行動には河川防災についてその影響を考慮した上で計画することを学習

- 開催日時:令和6年9月3日(火) 19:00~20:30
- 開催場所:勝央町総合保健福祉センター
- 主 催:勝央町勝間田地区常会長会
- 参 加 者:30名程度
- 講 師:勝央町総務部防災監



説明スライド
説明配布資料



説明の景況

■災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関する取組を積極的に行う

■令和6年度 奈義町総合防災訓練を実施

山崎断層帯を震源とした「震度6強」の巨大地震により、町内で様々な被害が発生したことを想定して「発災後2時間の初動対応」をテーマに訓練を行い、自主防災組織、消防団、各防災関係機関、町など災害対応について連携を深めた。

- 訓練参加機関 自主防災組織、消防団、なぎみ苑、奈義町
- 協力機関 陸上自衛隊日本原駐屯地、美作警察署、津山圏域消防組合、奈義町森林組合
岡山県建設業協会奈義支部、奈義ファミリークリニック、全国G空間情報技術研究会



災害対策本部



建物倒壊救助



複数箇所火災対応



土砂災害救助①



土砂災害救助②



救助者緊急搬送

■災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関する取組を積極的に行う

- 9月1日の防災の日にあわせ、店舗前で防災に関する呼びかけやアンケートを実施。
- アンケート協力者に対し防災グッズを配布。

- 日 程 令和6年9月1日(日)
- 場 所 ハッピーマート弓削店、ザグザグ久米南店
- 主催者 久米南町消防団女性部12名
- 協力者 約50名



- 美咲町社会福祉協議会、福祉事務所と協力し、令和5年度より小地域ケア会議等を通じて地域の避難行動要支援者の見直しを行っている。自治会単位で行われているため、きめ細やかな支援ができる体制が整っている。
- 地域ケア会議にて地域調整会議の様子を寸劇で住民に見てもらい、理解を深めてもらった。

小地域ケア会議を通じての取り組み

▼ 避難行動要支援者の抽出



▼ 個別避難計画作成(地域調整会議)



▼ 個別避難計画に基づく避難訓練



▼ 地域調整会議の寸劇の様子



- 小地域ケア会議の会場数 74自治会で開催／81自治会中
- 要支援者の登録者数 974人(12月末時点)
- 地域調整会議の開催数 16回

取り組みの効果として、災害に対する防災意識の向上と、住民同士の顔の見える関係性の構築やより地域コミュニティの結束化が見られた。

■ 日常からできる防災活動をテーマにした講座開催

- 「片づけ×防災」をテーマに吉備中央町内の小学校で児童と保護者、地域住民を対象に、「OKAYAMAお片づけチームmomo」が防災講座を実施
- 家の掃除等をしてしながら、家にある物を使って非常用持出袋を作っていく要旨で、断捨離を行えるうえに、水害に備えて必要な物を準備し、有事の際に必要な物品について考えを巡らせる意識を啓発
- また、児童向けにシールを使ってマイタイムラインを作成することを併せて学習
- 防災を話題のテーマにし、家族や地域住民と交流を深めるきっかけを提供

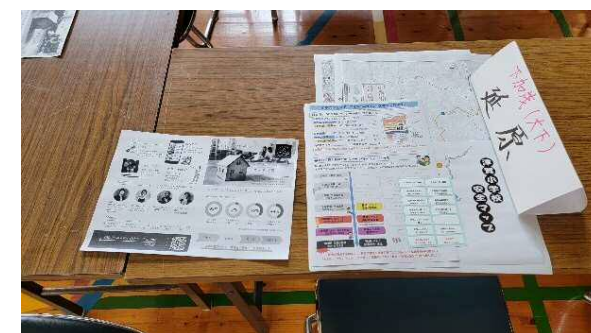
- 開催日 令和6年6月21日(金)
- 開催場所 吉備中央町立津賀小学校 体育館
- 主催 津賀小学校
- 参加者 児童、保護者、地域住民等 約40名
- 講師 OKAYAMAお片づけチームmomo 3名



▲講座の様子



▲講師が某有名アニメキャラに扮して説明



▲マイタイムラインをシールで作成



▲HMで避難ルートを事前に把握

■水防災に関する会議や研修での講師、出前講座を利用した講習会の開催

- 自治体や防災関係者、教育機関などを対象に、防災について周知解説を行った。
 - 市役所職員：注警報など気象情報発表時の対応シミュレーション演習や研修会での講演。
 - 防災士や自主防災組織：養成講座や勉強会での講演。
 - 教職員：実践的安全教育総合支援事業推進委員として、災害と防災に関する知識の普及啓発。

令和6年度の実績(2024年12月末時点)

自治体職員:防災会議4/17, 5/7,9,10, 6/4 ; 研修5/15,17,21, 7/25,31, 11/19,27 ; 訓練5/30, 8/18, 10/4, 11/16
民間防災関係者:5/23,28, 6/5,7, 7/5, 8/21, 9/19, 10/1,19,26
教育機関:5/29, 6/21, 7/26, 8/23, 9/18,19
報道機関:5/17
一般市民:公民館5/27,30, 6/27, 12/12;防災フェア9/8,29, 10/20, 11/10,15,23,30



【備前市役所】ワークショップ
10/4 市役所職員 25名
防災対応シミュレーション演習



【新見公立大学】防災士養成講座
9/19 防災士を目指す学生 170名
防災士養成科目の講師



【倉敷市まびふれあい公園】くらしき防災フェア
11/10 一般市民 約15000人
水害の種類や発生機構の周知